

親で変わる キレにくい子、キレやすい子

日経 Kids+ PLUS

[キッズプラス]

親子の時間には
楽しい事をプラス
なるほど!をプラス
安心をプラス

12

2008 December No. 37

創刊3周年
特大号

親で変わる キレにくい子、キレやすい子

3才・7才・10才が注意年齢!

「キレない心」の育て方

メダリストの親に聞く
子育て術

おうちで実践!
私立小学校の
学習メソッド



●特別とし込み付録

私立小学校の学習メソッド
算数ひらめき力アップドリル
漢字らくらく覚えられるドリル

特別
定価 630円



追い詰める……

本物志向ママ 優しすぎパパが危ない！

自分の選択眼に自信を持っている本物志向ママ。子どもに詰め込み型の勉強だけをさせても仕方がない、社会のことにも家族で目を向けるようにしようなど、子育ても本物志向。一見、理想的に思える本物志向ママが、子どもを追い詰めやすいと、学習塾「花まる学習会」の高濱正伸さんは言う。

「本当にいいものが何かをよくわかっていて、勉強家で頑張り屋。でも、その完璧さゆえに、子どもを追い詰めてしまいがち。エネルギーギッシュな本物志向ママに、子どもはなかなか逆らえない。だから、子どもらしくいることができなくて、いい子タイプになるのですが、思春期以降に不登校などの社会不適応の問題が出てきやすいですね。このタイプの子は面白みに欠けることが多く、友達ができにくいんです」(高濱さん)

また、本物志向ママは、孤独を抱えやすいという。「話が合うと思えるママ仲間をなかなか見つけられないんですね。だから、愚痴を言うことがほとんどなく、何でも自分で抱え込む。実は、ママ自身が追い込まれているんです」。

大切なのは、ママが楽になることだ。それには、誰かとつながれる関係をつくるのが一番いい。幼稚園やPTAの役員をやってみる、趣味サークルに入ってみると、意外と気の合う人と出会うものだ。「気持ちを打ち明けられる人が1人でもできれば、がらりと変わる。本当に楽になりますよ」。

パパのタイプとして要注意なのは、優しすぎパパだ。ものわかりが良すぎて、子どもが言うことを何でも聞いてしまったり、ビシッとしかるのではなく説明して納得

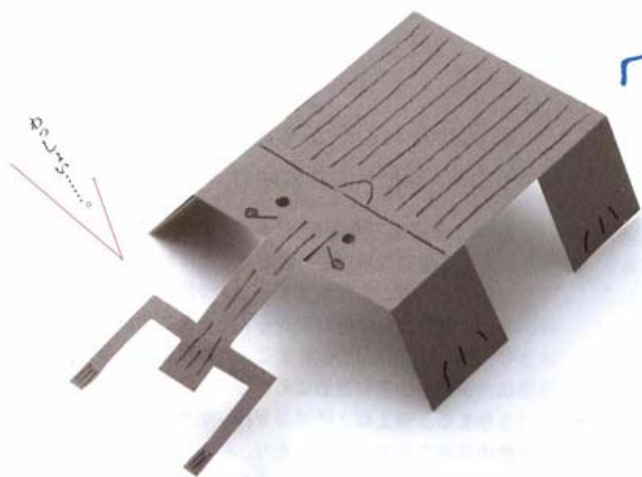
【本物志向ママ】

- ▶どちらかと言えば、高学歴。
- ▶あまり人に愚痴をこぼさない。
- ▶なかなか話の合う人がいない。
- ▶エネルギーギッシュなほうだ。
- ▶まっとうな子育てをしようとする。

【優しすぎパパ】

- ▶子どもと友達であろうとする。
- ▶子どもの言い分を何でも聞いてしまう。
- ▶子どもの屁理屈に、説明や説得で接する。

させようとしたりする。子どもは「自分の言うことは、何でも通るんだ」と思ったまま育ってしまい、人とうまくやれない壁にぶつかる恐れが出てくる。「善い悪いの線引きを大人がしてくれれることを、子どもは望んでいる。「ダメなものは、ダメ」とビシッとしかることも必要です」。



高濱正伸さん
花まる学習会
代表

93年に学習塾「花まる学習会」を設立。現在、埼玉県内ボランティア組織の一員として、いじめ・不登校・家庭内暴力などの実践的問題解決にも取り組む。著書に「孤母社会」(講談社)など多数。